

平成23年度 童浦小学校教育目標

(1) 本校の教育目標

「人間性豊かな童浦の子」

校訓

強く、正しく、どこまでも

- 強くたくましい子
- 明るく思いやりのある子
- 深く考え、自ら学ぶ子

(2) 経営方針

挨拶が響き合い、自ら誇れる学校

(地域との結びつきを大切にしながら、郷土愛をそだてる。)

- 「楽しい学校」、「美しい学校」、「学びのある学校」の実現
(挨拶・歌声) (そうじ) (基礎・基本)

(豊かな心) ——— 【 経 営 の 基 盤 】 ——— (考え、思い)

- 地域の自然と地域の人々の温かな心を生かした特色ある「ふるさと童浦小」づくり

《 地 域 ・ 家 庭 》 ——— (みんなの中で)

- ◎ 声を掛け合って、みんなで子どもを人 ^{ひとね} 練るところ

- 人間としてあたり前のことを、あたり前に学ぶ
- 年長者や両親への尊敬や畏敬の心の育成
 - ・ 家族みんなで土日を活用するように奨励する。
 - ・ PTA、自治会、老人会等、地域のみなさんを学校へ招待する。
 - ・ 子ども達を地域行事へ参加させたり、学校の様子を伝えたりする。

< 学 校 > ——— (学び、伝え合う)

- ◎ 元気な挨拶や歌声が響き合う楽しいところ
- ◎ そうじや整理、整とんがしっかりできる美しいところ
- ◎ 教師のよりよい支援によって、みんなで知徳体の基礎・基本をしっかり学ぶところ
 - 考えや思いを伝え合う ○ 学びを伝え合う ○ やさしさを伝え合う
 - ・ 子どもと一緒に遊び、学び、心のふれあいや感動を大切にする教師がいる。
 - ・ 一人一人を大切に、毎日の授業を大切に、基礎・基本を大切にする教師がいる。
 - ・ 子どもの手本となる教師がいる。

(3) 本年度の重点努力目標

- ① 心の現れとしての「形」や「態度」、「ことば遣い」、「挨拶」を大切にされた学校生活をめざす。
- ② 保護者、地域の人達の愛情を日々の授業や行事等により多く取り入れ、本校が子どもの「ふるさと：愛されてきたと強く感じられる思い出がどこよりもたくさんあるところ」となるように努める。
 - ア 学校・学級行事、集会等に保護者や地域の方々の参加を呼びかける。(子どもを行事でも育てる)
- ③ 楽しく参加できるように、手だてが工夫されている授業を展開する。
 - ア 一人一人の興味関心、わかり方、でき方を大切にして、小さな成長を見つけ、認めながら授業を展開する。特に、授業環境(授業の場所、机の配置など)、発問、板書の工夫に力を入れる。
- ④ PTA、地域外部講師をはじめ、よりたくさんの方々に協力・参加していただけるように努める。
 - 事前に目的や内容をしっかりと説明し、参加者全員の安全確保とよりよい教育効果の実現に努める。
- ⑤ すべての子どもをみんなで育てるために、学校開放や公開授業をより積極的に実施する。